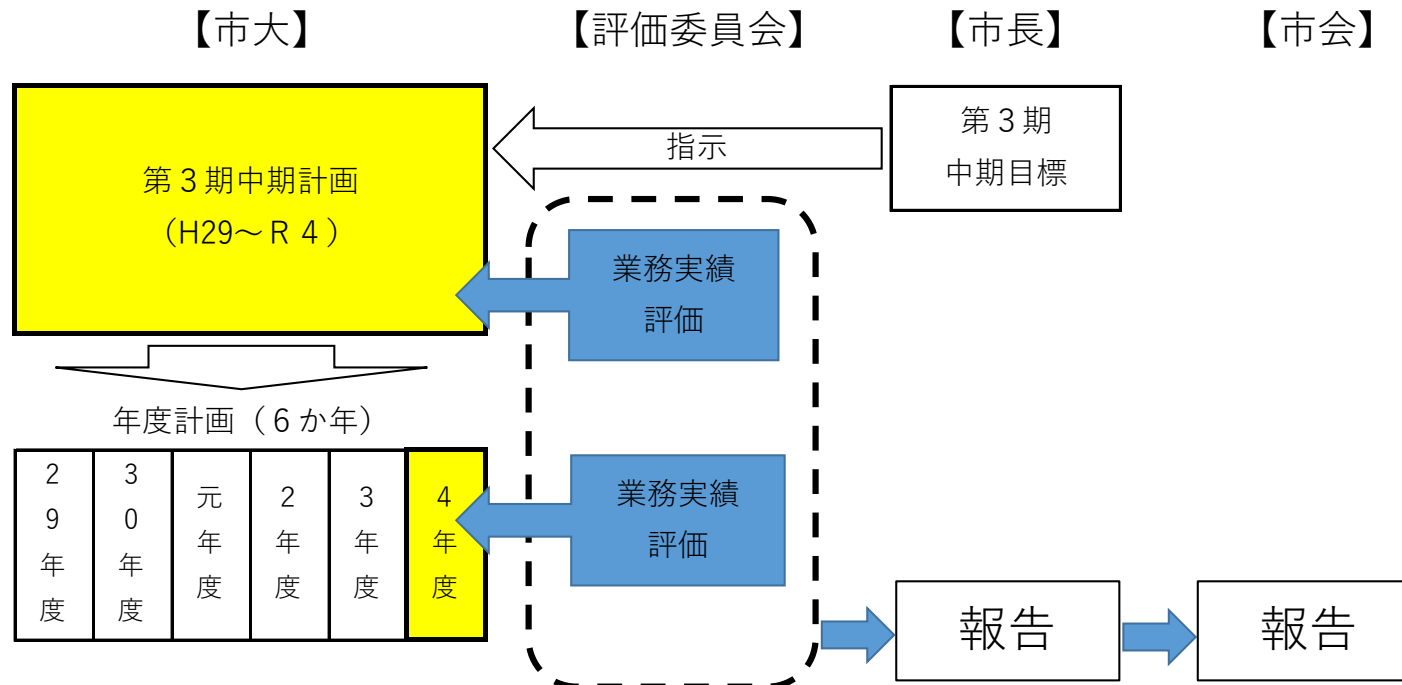


令和 4 年度及び第 3 期中期目標期間 公立大学法人横浜市立大学の業務の実績に関する評価結果について

横浜市公立大学法人評価委員会(以下「評価委員会」という。)が、地方独立行政法人法に基づき、令和4年度及び第3期中期目標期間における公立大学法人横浜市立大学(以下「市大」という。)の業務の実績に関する評価を実施し、設立団体の長である市長に対して報告しました。その評価結果につきまして、概要を報告します。

【参考】 市大の中期計画等と、市会・市・評価委員会の関係



S:目標(計画)を上回って達成、または難易度の高い計画を順調に達成
 A:目標(計画)を順調に達成
 B:目標(計画)を十分には達成できていない
 C:目標(計画)をほとんど達成していない

1 4年度の業務の実績に関する評価

<総括的評価>

4年度は、コロナ禍に加え、国際及び社会情勢の変化、AIなど情報技術の急激な進展等の変化が法人経営に大きな影響を与えた1年であったが、先が見通せない中であっても第3期中期計画期間最終年度として第3期中期目標の達成に向け、教育・研究・医療の充実に着実に取り組んだと認められる。

<個別的評価>

目標	4年度計画における主な取組等	委員会評価 (市大評価)		主な意見(○:特に評価できる点、●:今後期待する点等)
I 大学の 教育研究 等の質の 向上	1 教育に関する取組 ・全学データサイエンス教育の推進 ・共通教養カリキュラム等の策定 ・ラーニングマネジメントシステム(※教材共有、学習履歴を管理するシステム)の活用	A (A)	A (A)	1 教育に関する取組 ○全学的なデータサイエンス教育の推進に向けたカリキュラムの充実に努め、様々な施策がとられている。 ○ラーニングマネジメントシステム運用開始や、アクティブラーニングの導入率向上等、教育の質の向上に取り組み、学生満足度は85.8%と非常に高い。
	2 研究の推進に関する取組 ・さらなる外部資金獲得増加に向けた研究支援の強化 ・戦略的研究推進事業の推進 ・トランスレーショナルリサーチ(橋渡し研究)の推進		A (A)	2 研究の推進に関する取組 ○市大が代表機関となる産学連携事業が国の支援事業に採択されたことは、研究支援体制の強化の結果と考える。 ○主要学術雑誌等への掲載論文数、科学研究費補助金採択件数並びに共同受託研究数も目標を上回り高く評価できる。
II 地域 貢献	・「地域志向科目」を全学部学生に提供 ・教員地域貢献活動支援事業の充実 ・みなとみらいサテライトキャンパスを拠点とするイノベーション及びスタートアップ支援・人材育成事業の推進	A (A)		○地域志向科目の充実やボランティア支援室の活動により、ボランティア派遣数が大きく拡大したことは特筆に値する。 ●みなとみらいサテライトキャンパスは、その立地から、産学連携など様々な活用の可能性が考えられることから、より一層の取組の進展を期待したい。
III 国際 化	・新型コロナ対応のノウハウを活かした国際交流機会の確保 ・国、市、横浜国立大学、経済団体等と連携した留学生就職促進プログラムの継続実施	A (A)		○第2クォータープログラム構築等、海外留学を着実に軌道にのせたことは評価。 ●産業界における人材獲得競争が高まると考える中、海外からの留学生就職促進プログラムの今後が期待される。
IV 附属 2病院	1 医療分野・医療提供等に関する取組 ・遠隔ICU「支援センター」の24時間365日稼働の開始 ・がん医療・救急医療・災害時医療等、市や県の医療政策に基づく医療機能の充実	A (A)	S (A)	1 医療分野・医療提供等に関する取組 ○コロナ禍においても、遠隔ICU「支援センター」の24時間365日体制開始等、医療体制づくりも前進させている。 ○がんゲノム医療拠点病院の指定申請(附属病院)を行う等の取組を高く評価。
	2 医療人材の育成等に関する取組 ・新たな専門医制度に対応した専門医の育成 ・働き方改革の推進や病院経営人材の育成		A (A)	2 医療人材の育成等に関する取組 ○優秀な初期臨床研修医の確保と育成のためプログラムの充実に努めている。 ●医師の働き方改革の実施に向け、労働時間短縮の推進、チーム医療の推進など、引き続き取り組む必要がある。

目標	4年度計画における主な取組等	委員会評価 (市大評価)		主な意見(○:特に評価できる点、●:今後期待する点等)	
IV 附属 2病院	3 地域医療に関する取組 ・病病連携や病診連携等、地域医療連携の推進 ・地域の医療従事者に対する研修機会の提供	A (A)	A (A)	3 地域医療に関する取組 ○ウェブ初診予約の拡充や転院調整システムの利用拡大など、 <u>地域医療の推進にオンラインを積極的に活用</u> している。 ○地域の医療機関従事者向けの研修会、市民向けの医療講座などを実施し、地域医療の質の向上に成果を挙げている。	
	4 先進的医療・研究に関する取組 ・臨床研究中核病院の承認要件を満たす体制の維持 ・特定臨床研究の推進、治験の拡充 ・研究支援体制の充実		A (A)	B (B)	4 先進的医療・研究に関する取組 ○新規治験件数は安定しており、臨床研究や治験の増加に努力している。 ● <u>特定臨床研究件数は目標未達となっており、今後の奮起を期待したい。</u>
	5 医療安全・病院経営に関する取組 ・患者本位の医療に対する意識の向上 ・患者相談体制の整備、病床の効率的運用の推進 ・経営改善に向けた経営指標等の活用		A (A)	A (A)	5 医療安全・病院経営に関する取組 ○医療安全の研修受講率100%を維持するほか、クリニカルパスの使用率向上等、患者サービスの向上が図られている。 ○ <u>データ分析による経営に取り組み</u> 、患者の平均在院日数が短縮するなど、 <u>経営の改善・効率化が図られている。</u>
V 法人 の経営	1 業務運営の改善に関する取組 ・情報漏えい事案を風化させない個人情報の保護及びコンプライアンスの推進 ・ダイバーシティ推進室の設置 ・働き方改革及びDXの推進 ・高い研究力の発信を軸とした広報の推進	A (A)	A (A)	1 業務運営の改善に関する取組 ○ <u>適正な組織運営を確保するため、コンプライアンス推進専任部署や、ダイバーシティ推進室を速やかに設置したことを評価。</u> ●大学の知名度を上げるため、広報も含めた新たな戦略が必要。	
	2 財務内容の改善に関する取組 ・周年寄附事業の推進		A (A)	A (A)	2 財務内容の改善に関する取組 ○ <u>産学連携や文科省の補助金等の外部資金の獲得、寄附金獲得への体制強化、事務改善による経費削減に努めている。</u> ● <u>大学部門では光熱水費高騰等により法人化初の赤字となったため、今後一層のコスト削減や収入増の取組を進める必要がある。</u>
VI 自己 点検及び 評価	・評価委員会による中間評価をふまえた計画の進捗管理 ・これまでの評価結果を反映させた、第4期中期計画策定	A (A)	A (A)	○自己点検、評価を適切に実施し、評価委員会等の指摘事項等を踏まえ、第4期中期計画の策定を行った。	

2 第3期中期目標期間における業務の実績に関する評価

<総括的評価>

第3期中期目標期間は、超高齢社会の到来、グローバル化の更なる進展、新型コロナウイルス感染症の拡大等、目まぐるしい変化の6年間であった。この中にあっても、全教職員が一丸となり、教育、研究、医療等各分野について、スピード感と改革・改善の意識を持って取組を進めてきたと認められる。

<個別的评价>

目標	第3期中期計画における主な取組等	委員会評価 (市大評価)		主な意見(○:特に評価できる点、●:今後期待する点等)
I 大学の教育研究等の質の向上	1 教育に関する取組 ・ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを見直し、次世代カリキュラムを構築 ・自ら課題を見つけ探求する姿勢と問題解決能力を備え、社会的・職業的な自立が図られる人材を育成	A (A)	S (A)	1 教育に関する取組 ○データサイエンス学部の新設、学部再編、みなとみらいサテライトキャンパス開設等、未来志向の施策を次々と実施してきた。 ○特にデジタル人材の育成に関し、全学教育プログラムや社会人教育など、幅広く展開し全学的な特色・強みとしている。
	2 研究の推進に関する取組 ・市大の強みや今後期待される研究分野における、世界水準の研究成果の創出 ・基礎研究力の強化、若手研究者の育成 ・研究支援専門人材の育成等、研究支援体制構築		A (A)	2 研究の推進に関する取組 ○知財専門職の配置、研究・産学連携推進センターの設置などにより、産学官連携による研究事業や大学発ベンチャーの創出、他大学との共同研究など、大きな成果を示したことを評価。
II 地域貢献	・地域志向の教育プログラムの推進 ・教育の研究シーズを活かし、市や地域の政策課題を解決する取組を強化 ・エクステンション講座の質の向上	A (A)		○地域実践研究も着実に伸びており、市とも様々な連携をしていることを評価。 ○みなとみらいに開設されたサテライトキャンパスは、社会との結節点や協働の場として今後の活用に期待。
III 国際化	・Practical Englishを中心とした語学教育の推進 ・派遣プログラムや経済支援等、留学しやすい環境整備 ・海外協定校の拡充	A (A)		○コロナ禍の影響を受ける中、海外からの留学生比率が目標を下回ったことは残念であるが、交換留学先や海外協定校の増加によって、4年度に渡航した学生が100名を超えたことは大いに評価。
IV 附属2病院	1 医療分野・医療提供等に関する取組 ・市、県、地域医療機関との連携のもと、政策的医療(産産期・小児・精神・救急・がん・災害時医療等)を実施 ・地域医療機関との連携強化・機能分化 ・大学病院・急性期病院として、高度な医療を提供	A (A)	S (S)	1 医療分野・医療提供等に関する取組 ○コロナ禍の対応について大学病院としての役割を果たす一方、一般診療との両立の努力をしてきたことを高く評価。 ○「がんゲノム医療連携病院」「がんゲノム医療拠点病院」の指定を高く評価。
	2 医療人材の育成等に関する取組 ・地域に貢献し、幅広く活躍できる医師を養成 ・医療の質・安全性向上、高度・複雑化する医療へ対応		A (A)	2 医療人材の育成等に関する取組 ○地域医療を支える医師の確保育成に向けた初期臨床研修医の積極的採用、魅力あるプログラムの提供等を評価。 ●働き方改革や、タスクシフト/シェア等の取組の今後一層の推進を期待。

目標	第3期中期計画における主な取組等	委員会評価 (市大評価)		主な意見(○:特に評価できる点、●:今後期待する点等)
IV 附属 2病院	3 地域医療に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> 市や県の地域包括ケアシステムをふまえた、地域医療機関との関係強化 地域の医療従事者に対する研修の実施、実習の受入体制の充実 	A (A)	A (A)	3 地域医療に関する取組 ○病病連携、病診連携等に積極的に取り組み、 <u>地域包括ケアの診療体制の整備にリーダーシップを発揮した。</u> コロナ禍の混乱の中でも着実に目標を達成しており、 <u>さらに病院間のネットワーク・連携が進展することを期待。</u>
	4 先進的医療・研究に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> 強みや特色を活かした高度・先進的な臨床研究の推進 医学部と連携し、基礎研究から臨床応用に向けた橋渡し研究(トランスレーショナルリサーチ)を行う体制の構築 附属病院の臨床研究中核病院の早期承認 		B (B)	4 先進的医療・研究に関する取組 ○トランスレーショナルリサーチ推進の体制整備が図られたことを評価。 ● <u>臨床研究中核病院の承認要件を維持できず、一旦申請を取り下げざるを得ない状況に至ったことは残念だが、承認に向けた今後の取組を期待。</u>
	5 医療安全・病院経営に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> 患者本位の医療提供 安定した経営基盤の確立 医療安全文化醸成による、安全で質の高い医療の提供 		S (A)	5 医療安全・病院経営に関する取組 ○ <u>コロナ禍の過酷な状況下、患者相談体制の充実や病床の効率的運用の推進等に取り組んだことは特筆すべき点。</u> 病院の職員一人ひとりが高い目的意識を持ち続け、 <u>地域医療のために責務を全うしたことに敬意を表する。</u> ○臨床倫理コンサルテーションチームの立ち上げや、医療安全講演会の高い出席率の維持等に努めている。
V 法人 の経営	1 業務運営の改善に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス推進及びガバナンス機能強化、情報の管理 全学的なダイバーシティの推進 ICTの推進、支援する体制の構築 戦略的な広報の推進 	A (A)	B (A)	1 業務運営の改善に関する取組 ○ <u>コロナ禍の中、SNSの活用、テレワークの導入、ダイバーシティ推進体制の構築に取り組んだことを評価。</u> ● <u>個人情報の取扱への意識醸成等、コンプライアンスの取組の一層の推進が望まれる。</u> ● <u>ブランドランキング等では目標数値に届いておらず、大学ブランドイメージを上げるための広報等を期待。</u>
	2 財務内容の改善に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> 外部資金獲得の促進、組織的な寄付活動の強化 効率的な施設運営による管理的経費の削減 		A (A)	2 財務内容の改善に関する取組 ○ <u>財政の自由度が低い中で、外部資金の獲得、病院経営の改善など様々な努力により、物価高騰という環境でも財務内容が良好に保たれたことを高く評価。</u> ○ <u>ファンドレイザーの雇用により、これまでにない外部資金獲得成果を収めた。</u>
VI 自己 点検及び 評価	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な自己点検・評価をふまえた計画の進ちよく管理 	A (A)		○第3期中期目標期間の最終年度として、第4期への接続を考慮しながら厳密な進捗管理を行っていることを評価。

3 第3期中期目標期間における業務の実績の評価のまとめ

評価項目	評価委員会による各年度の評価							市大 自己 評価	評価 委員会 評価
	H29	H30	R元	R2	みなし 評価	R3	R4		
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組	A	A	A	S	概ね 順調	A	A	A	A
1 教育に関する取組	S	A	A	S		A	A	A	S
2 研究の推進に関する取組	A	A	A	S		A	A	A	A
II 地域貢献に関する取組	A	S	S	A	概ね 順調	S	A	A	A
III 国際化に関する取組	A	A	A	A	概ね 順調	A	A	A	A
IV 附属2病院(附属病院及び附属市民総合医療センター)に関する目標を達成するための取組	A	A	A	A	概ね 順調	S	A	A	A
1 医療分野・医療提供等に関する取組	A	A	S	S		S	S	S	S
2 医療人材の育成等に関する取組	A	A	A	A		A	A	A	A
3 地域医療に関する取組	A	A	A	A		S	A	A	A
4 先進的医療・研究に関する取組	A	A	A	A		A	B	B	B
5 医療安全・病院経営に関する取組	A	A	A	A		A	A	A	S
V 法人の経営に関する目標を達成するための取組	A	A	A	A	概ね 順調	A	A	A	A
1 業務運営の改善に関する取組	B	A	B	A		A	A	A	B
2 財務内容の改善に関する取組	S	S	A	S		S	A	A	A
VI 自己点検及び評価に関する目標を達成するための取組	A	A	A	A	概ね 順調	A	A	A	A